

平成27年度 花巻市共同企画展

ぐるっと花巻再発見!

～イーハトーブの
先人たち～

4館連携事業

- ◆花巻新渡戸記念館
- ◆総合文化財センター
- ◆萬鉄五郎記念美術館
- ◆花巻市博物館

ぐるっと花巻再発見 バスツアー

1回目：平成27年12月12日(土)
2回目：平成28年 1月15日(金)
参加料・入場料 無料
(昼食代自己負担)

平成27年
12月5日 (土)
↓
平成28年
1月31日 (日)

ぐるっと歩こう! スタンプラリー

期間中開催・協賛施設を
5館以上まわると、
プレゼントを差し上げます。

総合文化財センター

萬鉄五郎記念美術館

藤根与治郎・藤原八弥 兄弟展

大迫出身力士 ―初代錦木塚五郎・若ノ海正照展―

会期 平成27年12月1日(火)～平成28年1月31日(日)

会期 平成27年12月1日(火)～平成28年2月29日(月)



藤原八弥「土沢風景(駅前)」昭和初期 水彩・紙



藤根与治郎「藤根家の兄弟」1920年 鉛筆・紙



錦木錦絵



若ノ海関

花巻市博物館

東和町の画人 菊池黙堂

花巻新渡戸記念館

稲造の祖父・新渡戸傳



三本木平新渡戸傳新田見立之図

三本木人足札



菊池黙堂「山水図」1880年 紙本着色 二幅対



菊池黙堂「天保九如図」明治時代 紙本淡彩

菊池黙堂「四君子図」1896年 紙本淡彩

【共同企画展開催施設】

- | | | | | | |
|---|-----------------|---------------|------------|----------------|---------------|
| ●花巻新渡戸記念館 | 花巻市高松第9地割21番地 | ☎0198-31-2120 | ●花巻市博物館 | 花巻市高松第26地割8番地1 | ☎0198-32-1030 |
| ●萬鉄五郎記念美術館 | 花巻市東和町土沢5区135番地 | ☎0198-42-4402 | ●総合文化財センター | 花巻市大迫町大迫3-39-1 | ☎0198-29-4567 |
| 【主催】 花巻市 花巻市教育委員会 | | | | | |
| 【協賛】 宮沢賢治記念館 宮沢賢治イーハトーブ館 宮沢賢治童話村 高村光太郎記念館 南部杜氏伝承館 石鳥谷農業伝承館 石鳥谷歴史民俗資料館 | | | | | |
| 早池峰と賢治の展示館 | | | | | |
| お問い合わせ／生涯学習交流課 ☎0198-24-2111 | | | | | |

ぐるっと花巻再発見!

4館連携事業

- ◆花巻新渡戸記念館
- ◆総合文化財センター
- ◆萬鉄五郎記念美術館
- ◆花巻市博物館

花巻市博物館

東和町の画人 菊池黙堂

菊池黙堂は、1835(天保6)年に生まれ、陸中国和賀郡東晴山村(現・花巻市東和町東晴山)の出身。幼少より絵を好んで描き、画才に優れていた黙堂は、家業の染物屋を継がず、1854(安政元)年頃、江戸に住んでいた橋本雪蕉に師事しました。1864(元治元)年頃、雪蕉のもとを離れ故郷に帰り作品の制作に専念。1875～76(明治8～9)年、絵を描く傍ら、晴山や土沢の小学校の教鞭を取ったが、小学校を辞任してからは東京や関西、九州と回遊し、中国にわたり上海や杭州地方を歴遊します。1894(明治27)年、岩手公報に中国を旅した「漫遊記事」を掲載。1899(明治32)年に愛媛県松山市榎町(現・松山市)の長男宅において生涯を閉じます。

本展では、花巻の三画人のひとり、橋本雪蕉を師に、幕末から明治にかけて活躍した文人画家の菊池黙堂の画業を振り返り、その作品世界と功績を紹介し、また、師弟関係の作品も併せて展示します。

住所 花巻市高松26-8-1
休館日 12月28日～1月1日
入館料 一般350円/高校・大学250円/小・中学生150円
(20名以上の団体50円引き)

萬鉄五郎記念美術館

藤根与治郎・藤原八弥 兄弟展

花巻市東和町出身の藤原八弥(1914～1998、旧姓藤根)は、教員をしながら画家を志し、初期は地元土沢の風景を多く描きました。北上に移り住んでからは一水会会員として鬼剣舞をテーマに数多くの作品を制作し、民俗芸能の発展にも貢献。また、北上・国見山地区の文化復興や萬鉄五郎記念美術館(当時は萬鉄五郎記念館)の建設にも尽力しました。

その兄・藤根与治郎(1903～1959)も土沢で独学で絵画を学び、花巻や遠野を中心に死者の肖像を数多く描き、民俗的見地から高い評価を得ています。

この度の展覧会では、与治郎が残した肖像絵画と八弥が描いた郷土芸能や懐かしい郷里の風景を紹介し、藤根与治郎、藤原八弥という画家の活動とその表現の変遷をたどります。

住所 花巻市東和町土沢5区135
会期 平成27年12月1日(火)～平成28年1月31日(日)
休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日) 12月29日～1月3日
入館料 一般500円/高校・学生350円/小・中学生200円
(20名以上の団体50円引き)

花巻新渡戸記念館

稲造の祖父・新渡戸傳

新渡戸家は、1598(慶長3)年から約230年間、花巻に居住し、代々文武両面にわたって花巻城土の指導的役割や新田開発など地域の発展に尽くしました。

新渡戸傳(1793～1869)は花巻で生まれ、兵法の大家である父・維民から習うなど武芸に励みました。1820(文政3)年に父・維民が下北半島に左遷された際は一家で移り住み、生活を支えるために傳は商人となると商才を発揮しました。それらが認められると再び藩に迎えられ、次々と要職を務めました。その後、子の十次郎(稲造の父)とともに着手し、約10年をかけて十和田三本木平の新田開発に成功、大事業を成し遂げました。十和田市開拓の祖とされる新渡戸傳の人生と業績を紹介します。

住所 花巻市高松9-21
休館日 12月28日～1月1日
入館料 一般300円/小・中・高生150円(20名以上の団体50円引き)

総合文化財センター

大迫出身力士

—初代錦木塚五郎・若ノ海正照展—

花巻市大迫町出身の二人の力士、錦木塚五郎関と若ノ海正照関を紹介しします。

錦木という名の由来は、秋田県鹿角市の「錦木塚」に由来するという伝説があります。幼少から死去するまで怪力無双として多くの伝説を残した江戸相撲力士・初代錦木塚五郎の活躍を紹介します。

昭和36年に初土俵を踏んだ若ノ海正照関は、同期より遅い出世ながら辛抱強く土俵をつとめ、前頭二枚目まで昇進しました。昭和52年の引退後は大獣親方となり、NHK朝の連続ドラマ「ひらり」に相撲コーチ役で出演するなど角界以外でも幅広く活動されました。今回は、実際使用していた現役時代の化粧まわしや浴衣、また土俵写真・番付表等を展示します。

併せて、江戸相撲とは異なる独特の相撲文化があった盛岡藩の相撲も紹介します。

住所 花巻市大迫町大迫3-39-1
会期 平成27年12月1日(火)～平成28年2月29日(月)
休館日 12月28日～1月3日
入館料 一般200円/小・中・高生100円(20名以上の団体50円引き)



花巻市共同企画展
ぐるっとマップ